

異業種交流セミナー & 「布の力・NOREN」セミナー



藤森 勝治氏

■日時/2009年11月21日(土) ■場所/大阪化学繊維会館

今回の人材育成部会による異業種交流セミナーでは、様々な機械に用いられるネジを製造されている、藤森製作所の藤森勝治さんにお話を伺いました。藤森さんご自身のネットワークを活用し、オーロラの人口発生装置を製作するといった活動をされている方と聞き、お話を大変楽しみにしていました。普段のお仕事では、主に農業用に使用する機械のネジを製造され、藤森さん自らが北陸地方の農業地帯に向向き、実際に機械を使われている方の話を聞いたり、新しい機械の情報収集に行かれるということでした。農業用の機械も日々新しい機械が開発されていて、例えば、にんじんを掘り起こし、へたを取り、重さ分けまでしてくれる機械などが出てきているそうです。藤森さんは、そういった新しい機械の情報をいち早くつかみ、それらの機械に対応したネジを、早い段階から仕込んでリスクし、売っていくというお仕事をされているということでした。商品を先読みしてリスクしていくというのは、テキスタイルの企画販売に非常に似ていて、異なる職種でありながら、とてもおもしろいと思いました。

セミナー第2部風景



藤森さんが仕事をする上で大切にしていること、として「ヒューマンネットワーク」という言葉を挙げられました。藤森さんの話されたヒューマンネットワークとは、様々な分野にいる人との繋がりを持つことの大切さや、おもしろさでした。実際に藤森さんがオーロラの人口発生装置を作った際、様々な技術を持った人達の協力のもと、完成まで辿り着いたというお話を伺いました。装置に使う真空の筒を作るために、潜水艦を作っている方に協力してもらいに行ったというお話が特に印象的で、藤森さんの大切にしているヒューマンネットワークの力が発揮されたエピソードだと思いました。わからないことはそのことのプロに聞く、プラスチックならプラスチックに強い人に聞く、その代わりに自分の知っていることを教える。それぞれが持っている技術や知識を結集することで、どこにもない物が作り出せるということ、改めて教えていただきました。

交流会風景 会場ローラシア



セミナーの後の交流会にも、橘さんをはじめ、藤森さんの高校の同級生の方々が集まり、和やかな雰囲気様々な意見が交わされた交流会になりました。たくさんの方々と交流を深めていきたいと思い、入ったTDAで、様々なお仕事をされている方のお話を聞くことができ、とても貴重な時間を過ごすことができました。

(石井 知沙)

※セミナー第2部として 板東 正氏による「暖簾考」セミナーおよび、野々口 悟氏による「のれんの町勝山 取材報告」が行なわれました。